事務事業評価シート（平成21年度）　（ソフト事業）

（A面）

担当課	課長名	記入者
生涯学習　課	安田一司	森脇伴行

1　事務事業の概要　＜Plan①＞

事務事業名	新規・継続		事業開始年度		完了予定年度	
成人式運営事業		新規		年度		年度
	○	継続	○	H20以前	○	未定

事務事業の体系

計画掲載				
多可町総合計画	（章）	2　笑顔でつつむ、あったかいまち	（節）	2 学ぼう、活かそう
	（基本計画）	生涯学習を推進する		
個別計画				

根拠法令・条例・要綱等	事業区分（該当する区分に「○」）			
	○	ソフト事業		施設の維持管理
		義務的事業		内部管理事務
事務事業の具体的内容		建設・整備事業		計画などの策定

実行委員会を組織して成人式の実施	補助金の支給		有	○	無
	委託		全部委託		一部委託
		○	委託なし(全部直営)		

2　事務事業の目的　＜Plan②＞

対象（働きかける相手・誰が・もの）	受益者（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
町民	町民	式典、若者の集いを開催する

3　事務事業にかかる予算細目　＜Plan③＞

会計名	一般　会計

細目名	社会教育推進事業				細目名					細目名				
予算コード	款	項	目	大事業	予算コード	款	項	目	大事業	予算コード	款	項	目	大事業
	10	5	1	1										

4　事務事業実施にかかるコスト　＜Do①＞

事務事業・人員			単位	20年度 決算	21年度 実績(見込)	22 年度 計画	備考（全体事業費など）
総コスト			千円	5,172	4,674	5,906	
コストの内訳	直接事業費		千円	722	640	767	
	所属内間接費		千円	30	20	20	
	人件費		千円	4,420	4,014	5,119	
	投入人員	正職員	人/年	0.620	0.620	0.670	
		嘱託員	人/年				
財源内訳	国・県支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他特定財源		千円				
	一般財源		千円	5,172	4,674	5,906	

5　事務事業の手段＜Plan④＞と活動指標　＜Do②＞

事務事業を構成する業務		手段（事務事業整理シートより）	活動指標（手段の数値化）	単位	20年度実績	21年度予定	22年度目標
1	成人式実行委員会の実施	運営委員会を主体とする企画運営を行う	実行委員会の開催	回	3	3	3
2	成人式の実施		成人式の開催	回	1	1	1
3							
4							

（ソフト事業）（B面）

事務事業名［　成人式運営事業　］

6　事務事業の実績　＜Do③＞

成果指標(意図の数値化)	単位	20年度 実績	21年度 予定(見込)	22 年度 目標	備　考 (成果指標の考え方・計算方法)
参加者	人	250	200	200	

7　事務事業の事後評価　＜Check＞　（ソフト事業）

チェック項目			該当項目に「○」						担当の把握している課題
必要性	需要への対応性	住民ニーズは	○	高い		高くない		把握なし	
		緊急性は		高い	○	高くない			
		利用者・対象者数は		増加		減少	○	横ばい	
		他市町と比較して対象者に見直しの余地は		ない	○	ある		把握なし	
	町の関与の必要性	民間の事業(サービス)との競合は	○	ない		ある			
		国や県の事業(サービス)との重複は	○	ない		ある			
妥当性	サービス水準の妥当性	事業開始時から社会環境の変化は		ない	○	ある			
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は		ない	○	ある			
		他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は		ない	○	ある		把握なし	
	連携の可能性	他課で類似の事業は	○	ない		ある			
		他の事業と統合できる可能性は		ない	○	ある		あるが困難	
		民間や他の行政機関と連携できる可能性は		ない	○	ある		あるが困難	
		市民団体・ボランティアなどと協働できる余地は		ない	○	ある		あるが困難	
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は		ない	○	ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は		ない	○	ある			
		ｻｰﾋﾞｽ向上の観点から実施方法を見直す余地は		ない	○	ある			
		受益者負担を見直す余地は		ない	○	ある			
有効性	目標の達成度	成果指標が明らかで	○	ある		ない			
		前年より成果が上がって		いる		いない	○	横ばい	
	持続の可能性	継続することによる効果は	○	高い		高くない			
		世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて		いる		いない	○	測定困難	
		事業の休・廃止による住民への影響は	○	大きい		大きくない			

市場化の可能性							
		既に全部委託済		更なる委託化が可能である	○	委託化の余地があり	委託化は不可能
	○	市場化テストの導入について検討する余地がある		市場化テストの導入を検討する余地はない			

改善の可能性				
		1.改善の余地はない		2.改善の余地がややある
	○	3.改善の余地が多い		4.抜本的な見直しが必要

事務事業評価書

８　改善提案と今後の改善の方向性　＜Action＞成人式運営事業

職場からの意見（担当者）
（課題の解決についての提案など） 成人となる自覚を持たせる仕掛けが必要。

担当課長評価
（課長としてこの事業をどのようにしていきたいか） 実行委員会と内容を検討し、継続していく。 各区実行委員会の委員の選任に苦慮する。

所管評価		1．重点的に継続		2．現状のまま継続	○	3.内容を見直しながら継続		4．縮小を検討
		5．統合・連携を検討		6．休止・廃止を検討		7.終了・完了	内部評価	3

教育長評価
（教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか） 成人を迎えた町民にとって、より記念に残るものになるよう企画していきたい。

財政評価		1．重点的に継続		2．現状のまま継続	○	3.内容を見直しながら継続		4．縮小を検討
		5．統合・連携を検討		6．休止・廃止を検討		7.終了・完了		

評価委員コメント
現状を維持しつつ、事業改革の図られたい。